

2024年6月28日

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

新型 Audi e-tron GT：電気自動車のマスターピース

- より個性豊かに：3つのバリエーションを展開
Audi S e-tron GT、Audi RS e-tron GT、Audi RS e-tron GT performance
- よりパワフルに：一充電航続距離とパフォーマンスが大幅に向上し、充電時間が短縮
- より多彩に：新開発サスペンションにより、快適性とダイナミズムの理想的なバランスを実現

(ドイツ本国発表資料) 2024年6月18日、インゴルシュタット/ネッカーズルム：Audi e-tron GT quattro は、2021年に初公開されて以来、アウディの製品ラインナップにおいてスポーティな電気自動車のフラッグシップモデルとなっています。この4ドア グランツーリスモは、印象的なデザインとパワフルな駆動システム、ダイナミックなハンドリングを組み合わせています。今回登場する新しいバージョンでは、一充電航続距離、パフォーマンス、ハンドリングが大幅に向上し、充電時間がさらに短くなっています。また、アウディ初となる電気自動車の RS performance モデル、Audi RS e-tron GT performance も登場します。Audi e-tron-GT シリーズの新しいモデルは、ドイツにて現在注文を受け付けています。

AUDI AG 取締役会会長 ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は、次のように述べています。「Audi e-tron GT モデルは、パフォーマンスの新たな基準を設定します。充電容量の増加と電動4輪駆動システムにより、さらに長距離走行に適したクルマとなり、パフォーマンスも大幅に向上しています。新開発のシャーシは、快適性、乗り心地、ドライビングダイナミクスを、これまでにない範囲で実現しています」。

Audi e-tron GT シリーズの新しいバリエーションは、先進的なデザインと革新的なテクノロジーを組み合わせ、それぞれが独自の外観を備えています。例えば、新型 Audi S e-tron GT はエレガントでスポーティな雰囲気を特徴としています。フロントエンドは、控えめでありながらも印象的です。ブラックのマスクで縁取られた反転デザインを採用したシングルフレームは、完全に閉じられ、e-tron モデル特有のデザイン言語を反映しています。グリルにエンボス加工を施すことにより、立体的な造形を生み出しています。また、シングルフレーム上部にボディカラーと同色のペイントストリップを設置することにより、さらにスポーティで印象的な外観を演出しています。エアカーテンは、フロントエプロン内部のフロントホイール周囲のエアフローを最適化していますが、今回はより力強い形状に見直されました。リヤエンドのハイライトは、垂直フィンを備えたエレガントなデザインの空力ディフューザーです。リヤディフューザー上部にボディカラーと同色のインレイを装着することにより、視覚的な質感がさらに高まりました。このインレイは、ディフューザーとリヤバンパーをつなぐ役割を果たしています。

新型 Audi RS e-tron GT も、さらにスポーティになりました。フロントエンドだけを見ても、スポーティな外観を徹底的に追及していることが分かります。反転デザインを採用したシングルフレームは、RS 専用の 3D ハニカム構造を採用しています。ブラックのマスクを囲むように設置されたエプロンは、RS e-tron の低い車高を強調しています。機能的な L 字型のブレードと組み合わせることにより、地を這うようなスタイルを実現しています。RS e-tron GT のリヤエンドには、モータースポーツからフィードバック

くされた要素が取り入れられています。流線型のディフューザーには、リヤの L 字型ブレードなど、フロントの立体的なデザインテーマを反映しています。スポーティなブレードは、標準でボディカラー同色となっています。モータースポーツから採用されたもう一つのディテールは、エアロチャンネル間に設置された垂直の赤いリフレクターです。

Audi RS e-tron GT performance は、電気自動車としてはアウディ初となる **RS performance** モデルです。ユニークなデザインエレメントを特徴とするこのモデルは、マット仕上げのダークカーボンルーフ（オプション）とカーボンカモフラージュエレメント（オプション）を組み合わせることにより、**Audi RS e-tron GT** と明確な差別化を図っています。これらのエレメントは、**RS performance** 専用で、アウディとしては初めて採用されるものです。カーボンカモフラージュは、エンボス加工されたバンパー構造、ドアトリム、ディフューザーの一部、サイドミラーに採用されています。

新しいコーポレートアイデンティティ（CI）も、**e-tron GT** シリーズの外観のアップグレードに貢献しています。フォーリングスエンブレムは、ラジエーターグリルとフロントエプロンの間に配置され、高品質な 2 次元デザインになりました。ボディカラーは、ソリッドなアルコナホワイトに加え、メタリックまたはパールエフェクトカラーのアスカリブルー、デイトナグレー、フロレットシルバー、ケモラグレー、ミトスブラック、プログレッシブレッドの 9 色が用意されています。ニンバスグレーは、**Audi RS e-tron GT** および **RS e-tron GT performance** 専用カラーとして提供され、新色のベッドフォード グリーンは **Audi RS e-tron GT performance** 向けに用意されています。オプションのブラックオプティクスパッケージは、フロントとリヤのダークアウディリングス、エアインテーク、ドアミラーハウジング、ディフューザーエレメント（**Audi Se-tron GT**）が含まれています。**RS** モデルには、標準でダークアウディリングスが装備されており、ブラックオプティクスパッケージを選択すると、バンパーの L 字型ブレードとディフューザーのエアロチャンネルがグロスブラック仕上げとなります。オプションで同じくグロスブラック仕上げのドアミラーハウジングも選択可能です。

ホイールラインナップも刷新されました。**Audi Se-tron GT** および **RS** モデルには、新しい 20 インチ マルチスポークホイールが用意されています。さらに、**RS** モデル用に、2 つの新しい 6 ツインスポークホイールが追加されました。研磨加工された 21 インチ鍛造ホイールは、1991 年発表の **Audi Avus quattro study** に装着されていた「AVUS ホイール」を彷彿とさせます。クリアで一切の妥協を排したラインを特徴とするこの印象的なホイールは、アウディブランドの **DNA** を体現しています。**RS e-tron GT performance** では、ホイールの表面全体がマットダーク仕上げとなっており、スポーティな雰囲気がさらに高まっています。

インテリア：スポーティなエレメントとサステナブルな素材

アウディの新しい CI は、デザインが見直されたシート、ステアリングホイール、シルプレート、デジタルコンテンツにも反映されています。ドアを開くと地面に投影されるプロジェクションライトも変更されています。運転席のドアを開くと、赤い影がついた赤いダイヤモンドが投影され、**S** バージョンでは、赤い影がついた白いダイヤモンドが映し出されます。**Audi e-tron GT** シリーズでは、自然なアンスラサイトバーチ材を使用した新しい木製インレイを選択できるようになりました。**Audi RS e-tron GT performance** では、エクステリアに合わせたマット仕上げのカーボンカモフラージュも利用可能です。新しいインテリアの装備にはバナジウムが採用され、照明によって見え方が異なるアンスラサイトカラーのエフェクトの仕上げとして使われています。バナジウムは、**Audi Se-tron GT** ではオプションとして

選択可能で、RS モデルは標準装備されています。

新しい Audi e-tron GT シリーズでは、ステアリングホイールの上下がフラット仕上げになっています。RS モデルの場合、ステアリングホイールにはレッド仕上げの 2 つの赤いコントロールパネルが配置され、オプションで 12 時の位置にマーキングを追加することもできます。シートもアップグレードされました。ヘッドレスト下の開口部のデザインは、よりダイナミックになり、照明付きロゴを備えた一体型インレイが採用されています。Audi S e-tron GT には、14 段階調整機能付きのスポーツシートプラスが標準装備されています。レザーフリーデザインパッケージを組み合わせると、コントラストカラーのオレンジのステッチが施されます。RS モデルの場合、オプションでマッサージ機能付きのシートを選択することができます。さらに RS performance モデルには、専用の新しいデザインパッケージ（サーペンタイングリーンにステッチが施されたベッドフォードグリーン仕上げ）が用意され、オプションで 18 段階調整機能付きのシートを選択することもできます。

インテリアには、環境に優しいマイクロファイバー素材の Dinamica（ダイナミカ）とファブリックの Cascade（カスケード）が採用されています。スエードに似た見た目と手触りの Dinamica は、ほぼ半分がリサイクルされたポリエステルで構成されており、その一部はアウディが使用したファブリックの残布です。シート、ステアリングホイール、バーチャルコックピット上部のフード、ドアミラー、センターコンソール、ウィンドウトリムの 37~45% は Dinamica 製です。RS モデルには、ディーブブラックの Dinamica が採用されています。天然繊維のようなファブリックの Cascade は、15% のセルビッチと 35% のリサイクルされたポリエステルで作られています。この素材は、環境保護の観点から染色はされていません。Cascade は、シートやドアミラーに採用されています。カーペットおよびフロアマットは、Econyl（エコニール）製で、生産廃棄物、ファブリックやカーペットの残布、古い漁網などから 100% リサイクルされたナイロン繊維素材です。

アップグレードされたアウディバーチャルコックピットとスマートパノラミックルーフ

Audi e-tron GT シリーズは、数多くの Audi connect サービスやオンデマンド装備、アプリストアによりデジタル化され、高度なコネクテッド機能を備えています。アウディバーチャルコックピットは、バッテリー温度に関する新しい情報を提供し、充電可能な最大出力をリアルタイムで表示します。Audi RS e-tron GT には、RS 専用コンテンツを表示するディスプレイが装備されています。例えば、RS e-tron GT performance では、MMI 経由でホワイトのパワーディスプレイとスピードメーターを選択することができます。これは、ホワイトのアナログメーターを採用していた、1994 年モデルの Audi RS 2 Avant のオマージュです。

オプションの追加アップグレードとして、高度なテクノロジーを採用したパノラマガラスルーフも選択可能です。従来の素材とは異なり、このパノラマルーフに使用されているスマートガラスは、直射日光を最小限に抑え、ボタンを押すだけで不透明になります。これは、透明から不透明に変化させることが可能な、ポリマー分散液晶（PDLC）と呼ばれるテクノロジーによって実現しました。電氣的に制御可能なガラスコンポーネントには、液晶をサンドイッチ状に挟み込んだ 2 枚の PDLC フィルムが含まれています。結晶に電圧がかかっていない場合、結晶は不透明な層を形成し、ガラスルーフが不透明になります。電圧をかけると結晶が再配列し、ルーフが透明になります。このルーフは、MMI ディスプレイを介して「デジタルカーテン」のように個別に制御することが可能で、4 つのプリセットから選択することができます。マット仕上げのグラフィック面は、アウディを象徴するスポーティなハニカム構造を想起させます。

より効率的でパワフル：電動4輪駆動

Audi S e-tron GT および RS e-tron GT のフロントアクスルには永久磁石同期モーター（PSM）が搭載されており、出力は、どちらも 176kW（239PS）です。追加機能として、Audi RS e-tron GT performance では、フロントアクスルのパワーエレクトロニクスが見直され、さらに高い放電電流を実現するために改良されたパルスインバーターを採用しています。これら 3 つのモデルは、効率だけでなく、パワーと加速性能も大幅に向上しています。

リアアクスルに搭載されている、新開発の電気モーターも永久磁石同期モーター（PSM）です。このモーターは、Audi RS e-tron GT および Audi RS e-tron GT performance の PSM と同じサイズで、軸長 192mm、直径 230mm です。モーターなどの部品は、プレミアムプラットフォームエレクトリック（PPE）と共に供給されます。この電気モーターの出力は、415kW（564PS）です。両方の電気モーターには、過酷な運転状況に対応できるパワーリザーブ機能を備えています。Audi S e-tron GT の駆動システムの最高出力は 500kW（679PS）、RS e-tron GT は 630kW（856PS）、そして RS e-tron GT performance は 680kW（925PS）に達します。これにより、Audi RS e-tron GT performance は、これまで生産されたアウディの中で、最もパワフルな市販モデルとなりました。

アウディの電動グランツーリスモは、3 つのバリエーションすべてにおいて、非常に優れた走行性能を発揮します。Audi S e-tron GT は、0～100km/h を 3.4 秒で加速、RS e-tron GT は 2.8 秒、そして RS e-tron GT performance はわずか 2.5 秒です。そして Audi S e-tron GT の最高速度は 245km/h、RS モデルの最高速度は 250km/h です。

Audi S e-tron GT のブレーキシステムには、標準のスチールディスクとブラックキャリパーを組み合わせ、新開発された大型ブレーキシステムが搭載されています。キャリパーは、オプションでレッドも選択できます。RS モデルに搭載されているタングステンカーバイドコーティングされたブレーキディスクは、S モデルではオプションとなっています。ブレーキキャリパーは、ブラック、レッド、オレンジから選択可能です。すべての Audi e-tron GT シリーズは、カーボンファイバー セラミックディスクを選択することも可能です。このディスクでは、10 ピストンキャリパーが標準となり、カラーはアンスラサイトまたはレッド（オプション）となります。

出力を大幅に増加させつつ、Audi はローターやステーターなどのコンポーネントを再設計し、冷却システムを最適化することで、リアアクスルの電気モーターの重量を約 10kg 削減することに成功しました。さらに、スムーズなパワー配分を実現するためにパワートレインのドライブシャフトを強化し、4 輪駆動を制御するエレクトロニクスを改善して、すべてのアウディドライブセレクトモードに合わせて最適化しました。

新しいブースト機能を標準装備したことにより、Audi RS e-tron GT および Audi RS e-tron GT performance は、走行中に 70kW に及ぶパワーアップを実感することができます。ブースト機能は、ステアリングホイールの左側のコントロールスイッチを押して起動することができます。ブースト機能は 10 秒間有効になり、メーターパネルにはカウントダウンが表示されます。

より軽量でエネルギー密度の高いバッテリー、航続距離は最大 609km

アウディは高電圧（HV）バッテリーの重量を削減すると同時に、エネルギー密度も高めました。エネルギー容量が増加したにもかかわらず、HV バッテリーの重量は 9kg 削減され、総重量は 625kg になりま

した。HV バッテリーの総容量は 105kWh (正味容量 97kWh) です。さまざまな改良に加え、2 層式冷却プレートを最適化することにより、33 個のセルモジュール全体のエネルギー容量が 12%増加しています。各モジュールは、12 個のポーチセルから構成され、柔軟性の高いアウターケースに収められています。アウディは、セル自体の冷却システムも改良しました。

これにより、素材やセパレーターの変更、セルの化学構造の変更と相まって、セルのエネルギー密度が高まっています。新しい Audi e-tron GT シリーズの回生システム (回生ブレーキ) から得られるエネルギーも、従来の 290kW から 400kW に増加しました。ドライバーは、MMI を介して、回生システムを手動または自動に切り替えることができます。また、シフトパドルを使用して、回生レベルを 3 段階で変更できます。

アウディは、個々のセル内の電流フローを増加させることで、最大充電電流と放電電流を 400A まで増加させました。セル化学構造を変更するだけでなく、ポンプとバルブの切り替え制御の改善と、洗練されたプリコンディショニングシステムの採用によりさらに最適化されたインテリジェントで予測的なサーマルマネジメントシステムを取り入れたことで、充電時のパワーフローが増加しています。ブースターコンバーターを一体化した新設計の充電システムは、重量が 2.3kg 削減され、バッテリーから最終負荷への電圧変換ステージと呼ばれる機能を提供することで、充電性能の向上に貢献しています。

より高い充電出力：10 分間の充電で 280km 走行可能

アウディは、電気自動車の最大充電出力を、初期のモデルの 50kW から 320kW へと増加させてきました。理想的な条件下では、Audi e-tron GT シリーズの HV バッテリーは、急速充電 (HPC) ステーションを利用すると、わずか 18 分で 10%から 80%まで充電することができます。また、わずか 10 分間の充電で、最大 280km 走行することが可能です。プラグ&チャージ機能を搭載することにより、充電ケーブルを差し込むと、互換性のある充電ステーションを自動的に認証して充電が開始されます。新しい HV バッテリーは、以前のバッテリーと比べて、急速で充電することができる状態が拡大しました。たとえ気温が低い時でも、より早く高出力ができる状態に到達し、15°Cという低温でも非常に高い充電性能を実現しています。これにより、サーマルマネジメントシステムのエネルギー要件をさらに低減し、より簡単に理想的な急速充電を行うことができます。オプションとして、最大 22kW で AC (交流) 充電することもできます。

今回初めて、アウディバーチャルコックピットプラスには、バッテリー温度、急速充電予測、プレコンディショニング状態など、HV バッテリーの現在の動作状態に関する包括的な情報が表示されます。具体的には、アウディ独自のグラフとアイコンを使用して、現在可能な充電出力と HV バッテリーの現在の温度を表示します。アウディバーチャルコックピットプラスは、急速充電ステーションを含むナビゲーションが有効になっている場合、プレコンディショニングの状態も表示します。これにより、ドライバーは、充電時の予測パフォーマンスを事前に確認することができます。

4 つの最適化された冷却回路で構成されるサーマルマネジメントシステムは、バッテリーおよび駆動システムのコンポーネントを理想的な温度に保ちます。このシステムは、外気温に応じて、バッテリーを事前に冷却または加熱し、急速充電できる状態にします。標準装備されるヒートポンプは、エネルギー効率の高いエアコンディショナーにより、特に冬季における一充電航続距離を伸ばします。

アクティブサスペンションと個別に設定可能な RS モードを備えたアウディドライブセレクト

サスペンションは、2 チャンバー/2 バルブテクノロジーを採用した新開発のエアサスペンションが標準装備され、快適性を損なうことなくドライビングダイナミクスを飛躍的に高めています。革新的な新しいアクティブサスペンションも、オプションとして用意されています。このシステムは、快適性重視の走り、スポーティな走りを、これまで以上に幅広く設定することが可能になっています。

アウディドライブセレクト ダイナミックハンドリングシステムにより、ドライバーは車両の特性を変化させることができます。システムには、エフィシエンシー、コンフォート、ダイナミックの 3 つのプロフィールが用意されています。Audi S e-tron GT では、個別のモードを設定することも可能で、RS モデルには、個別に設定可能な RS 専用モード (RS1 と RS2) が用意されています。Audi RS e-tron GT performance には、専用機能として、サーキット走行で最適なセットアップを実現する、パフォーマンスモードを選択することもできます。

サスペンションは、ハードなブレーキング時、コーナリング時、加速時にも車体をほぼ水平に保ちます。その結果、ステアリングレスポンスの精度が高まり、スポーティな走行時におけるコントロール性が向上します。このような状況では、アクティブサスペンションが各ホイールの荷重をバランスよく分散し、ほぼ完璧なグリップ性能を確保します。

通常の走行時、特に凹凸のある道路を走行しているときに、アクティブサスペンションは車体の振動をほぼ完全に中和します。アウディドライブセレクトを介してカーブティルト、スタート、およびコンフォートブレーキ機能を有効にすると、サスペンションがピッチングとローリングを補正し、加速感を軽減します。アクティブサスペンションには、車両が停止しているときに乗降をサポートする、エントリー機能もあります。この機能を利用すると、停止時の車高に応じて、数秒のうちに 55~77mm の範囲で車高を上昇することができます。

またオプションで、以前の Audi e-tron GT quattro よりもダイレクトなステアリングレシオを採用した、オールホイールステアリングを提供します。これにより、低速時のステアリング操作に必要な力が軽減されます。このシステムは、スピンドルドライブを使用してリヤホイールを最大 2.8 度回転させます。約 50km/h まではフロントホイールと反対方向に操舵することにより、俊敏性と操縦性が向上します。約 80km/h からはフロントホイールと同じ方向に操舵することにより、安定性が向上します。50~80km/h の間では、運転状況に応じて、リヤホイールの操舵方向をフロントホイールと同じ、または反対方向に調整します。オールホイールステアリングにより、最小回転半径が約 0.6m 減少します。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12 カ国 21 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2023 年、アウディ グループは、190 万台のアウディ、13,560 台のベントレー、10,112 台のランボルギーニ、および 58,224 台のドゥカティを販売しました。2023 会計年度において、アウディ グループは総収益 699 億ユーロ、営業利益 63 億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは 2023 年に 87,000 人以上が働き、そのうち 53,000 人以上がドイツの AUDI AG で働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
